NEWS23 週刊報告　　ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)
対象期間：5/21～5/25

・5/21(月)
　加計学園問題、狛江市長セクハラ問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでしたが、加計学園問題については印象操作の疑いが見られました。また、番組構成について検証者の所感を記しました。

・5/22(火)
　加計学園、米朝首脳会談を前に、狛江市高橋市長辞意、「カジノ整備法案」衆院本会議で審議入りなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたが、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。しかし、加計学園問題については印象操作の疑いが濃厚な場面が見られました。また、番組構成について検証者の所感を記しました。

・5/23(水)
　森友学園問題、イラク日報問題、加計学園問題、米朝会談延期についてトランプ大統領が言及、東京・狛江市長セクハラ疑惑などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、森友学園問題については放送法に反する箇所が見られました。

・5/24(木)
　米朝首脳会談、森友文書、宗教団体の日韓信者 30 名拘束、元富山市議に有罪判決などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、森友文書については放送法に抵触する可能性のある場面および印象操作の疑いのある場面が見られました。

・5/25(金)
　森友学園問題、加計学園問題、働き方改革関連法案、財務省文書管理問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、特に問題は見られませんでした。また、番組構成については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018 年 5 月 21 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：加計学園問題、狛江市長セクハラ問題

報道トピック一覧

・加計学園問題

・スポーツ

・オウム死刑囚の今

・狛江市長のセクハラ疑惑

・スポーツ

・宇宙でパラパラ漫画仰天仕掛け人が 2020 を PR

・23TODAY

加計問題で新文書

悪質タックルで日大生記者会見へ

・「レオン」など人気監督“性的暴行”で操作

・テキサス、高校で銃乱射

・キラウエア噴火で初の負傷者

・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・加計学園問題→結論：問題なし

今回の報道は加計学園問題についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 616 秒であった。

安倍総理は国会で、獣医学部新設計画について知ったのは去年 1 月 20 日と答弁しているが、その 2 年前に加計理事長が安倍総理に獣医学部について説明したと書かれた文書がでてきた。発端となったのは、今日夕方愛媛県の中村知事が開いた記者会見で、加計学園をめぐる新たな文書を国会に提出したことを明らかにした。

愛媛県が 3 年前に作成したもので、あわせておよそ 30 ページあり、そのうち 2015 年 2 月に地域政策課が作成した文書で、3 月 3 日に加計学園関係者と打ち合わせした内容としてこう記されている。「2 月 25 日に理事長が首相と面談光太郎理事長と面談。15 分程度。理事長から獣医師養成系大学空白地帯の四国の今治市に設置予定の獣医学部では国際水準の獣医学教育を目指すことなどを説明。首相からはそういう新しい獣医大学の考えれはいいねというコメントあり。」というものであった。

注目されるのはこの面談の日付けであり、国会で以下のやりとりがあった。

民進党大串博志衆院議員（当時）は「総理は加計理事長がこの獣医学部新設に対して特区において申請されていると知られたのはいつですか？」と質問し、安倍首相は「この加計学園の申請が正式に認められた国家戦略特区諮問会議において私が知るところに至ったわけでございます。」と答弁した。さらに、民進党大串博志衆院議員（当時）は「正確にお答え下さい。いつですか」というと、安倍首相は「これはですね、1 月 20 日に加計学園の申請が正式に決定したわけでございます。」と答弁したという内容であった。

安倍総理はこれまで、加計学園による獣医学部新設を知ったのは 2017 年 1 月 20 日だと繰り返してきたが、文

書ではその 2 年近く前に安倍総理と加計孝太郎理事長が面談していたというものであった。安倍総理と加計理事長が面談したという 2015 年 2 月 25 日には衆議院予算委員会が行われたほか戦後 70 年談話に関する有識者懇談会などが行われており、こうしたスケジュールの間に面談していたのかが疑問である。今回提出された愛媛県の提出文書には新たな政治家の名前もあった。

安倍総理と加計理事長の面談に先立つ 2015 年 2 月付の文書では「2 月 12 日（木）加計学園関係者と県・今治市との間で意見交換会を行った。加計学園からは「イスラム国」問題等で多忙を極める安倍首相と同学園理事長との面会が実現しない中で官邸への働きかけを進めるため 2 月中旬に加藤内閣官房副長官との面会を予定していること」書かれていた。

スタジオでは、星キャスターは「安倍総理に加計理事長が面談するわけですね。その直後に、柳瀬秘書官が加計学園とか愛媛県・今治市の関係者と相次いで会うということで、その、獣医学部新設の流れができてくるわけで、まさに、その、安倍総理と加計理事長の面談が突破口になってくるわけですね、その安倍総理が去年 1 月にこの計画を知ったという国会答弁が非常に揺らいでくる状況だと思います。それから、いくつか、柳瀬さんが安倍総理から指示を受けたんじゃないかと受け止められる表現もいくつかありましてね、これは、その、国会でもう一回真相を解明をしてもらわないといけないですね。」と発言した。

・狛江市長のセクハラ疑惑→結論：問題なし

今回の報道は狛江市長のセクハラ疑惑についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 254 秒であった。

市長のセクハラ疑惑でゆれる東京・狛江市では、副市長が市長に辞任を求める異例の事態となっており、市長はセクハラ疑惑を全否定ということに関して、副市長と市長で以下のような対立があった。

狛江市水野壌副市長は「市長においてセクハラ行為があったと確認が取れましたのでそのことに対する責任の所在ってものを進退を含めてご自身で判断願いたいと。市長の立場を利用しての卑劣な行為を職員に行ったとそういうふうに私は感じております。」

これに対して、狛江市高橋都彦市長は「セクハラの次元で言動した覚えは一切ありません。出処進退については今のところ白紙状態であります。」と発言し、さらに「被害者とされる人物は思い込みが激しいタイプだ」などとも主張した。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・加計学園問題→印象操作の疑いが濃厚

星キャスターの「（獣医学部新設が）難しいかもしれないという情勢の中で、安倍総理に加計理事長が面談するわけですね。その直後に、柳瀬秘書官が加計学園とか愛媛県・今治市の関係者と相次いで会うということで、その、獣医学部新設の流れができてくるわけで、まさに、その、安倍総理と加計理事長の面談が突破口になってくるわけですね」という発言は実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対してそれが事実であるかのような印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

検証者所感

・番組構成について

加計学園の問題にこれだけの時間を割くというのはどうなのかと感じた。

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018 年 5 月 22 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：加計学園、米朝首脳会談を前に、狛江市高橋市長辞意、「カジノ整備法案」衆院本会議で審議入り

報道トピック一覧

・スポーツ

・加計学園問題：“新文書”で浮かんだ矛盾

・米朝首脳会談を前にしたかけひき

・狛江市高橋市長辞意

・「カジノ整備法案」衆院本会議で審議入り

・スポーツ

・23TODAY

日大選手が会見

加計学園理事長との面会全面否定

・睡眠障害を認識しつつ運転し、事故

・スパコン事件

・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・加計学園“新文書”で浮かんだ矛盾→結論：問題なし

今回の報道は加計学園“新文書”で浮かんだ矛盾に期待についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 541 秒であった。

加計学園の獣医学部設置をめぐり昨日、愛媛県が新たな文書を提出した。加計学園による獣医学部設置計画を知った時期についてこれまで去年 1 月としてきた安倍総理であるが、新たな文書の記述が本当ならば、そのさらに 2 年前の 2015 年 2 月には知っていたことになる。

総理と記者との間で以下のやりとりがあった。

記者は「総理は 2015 年 2 月 25 日に加計学園理事長と面会されましたでしょうか？またその際に獣医学部設置計画について「そういう新しい獣医大学の考えはいいね」とお話をされたのでしょうか？」と質問したのに対して、安倍総理は「あのご指摘の日に加計孝太郎理事長と会ったことはございません。念のために昨日　官邸の記録を調べたところでございますが確認できませんでした。加計孝太郎氏とは獣医学部新設について今まで国会等でお話をさせていただいてきたようにそういう事柄について加計孝太郎氏から話をされたこともございませんし、そういう事柄について加計孝太郎氏から話をされたこともございませんし、私から話をしたこともございません。」と答えた。

加計学園の獣医学部新設をめぐり愛媛県が昨日国会に提出した文書には加計学園から受けた報告として以下の記載があった。(「2015 年)2 月 25 日に理事長が首相と面談。首相からは「そういう新しい獣医大学の考えはいいね」とのコメントあり」

しかし、安倍総理は「念のため昨日官邸の記録を調べたところでございますが、確認できませんでした。」と述べた。

これに対して、共産党小池昇書記局長は「だって官邸の記録ないんでしょう。官邸の記録は捨てた廃棄したと言ってたはずなのに都合のいいときだけ官邸の記録が出てくるということではこれは到底納得できないというふうに思います。」と述べた。

今回の文書について、愛媛県中村時広知事は「何も改ざんする必要はないのでありのままに報告書類として出されたものが提出されたと我々の立場としてはそれ以上言いようがありません。」

最後に浮上するのが加計学園がウソをついている可能性である。

今日記録との食い違いと当日の日程などについて質問し、寄せられた回答は、加計学園（きょう）は「ご質問にお答えすることは差し控えます。」と回答した。

スタジオでは、駒田キャスターは「愛媛県の文書の中で総理と加計理事長が会ったとなっている 2015 年 2 月 25 日の総理動静を見ていきます。午前と午後に衆議院の予算委員会などがありますけれども、これをみていきますと二人が会ったという記録は星さん」と星キャスターに聞き、星キャスターは「そうですね、新聞の総理動静っていうのは総理番の記者が書くんですけれども、まあ、私の経験から見ても、目を逃れて総理と会うってことも十分可能なんですね。例えば、ここでいうと公邸ですね、公邸には裏口もありましてね、裏口からでたり入ったりするとあのー、記者の目には引っかからないということですし、それから、私邸に帰ってますけれども、この時も加計さんがですね、早めに私邸いて面談の後、裏口から帰ればわからないとそういうことですね。」と答えた。

また、雨宮キャスターは「これは誰がウソをついているのか、真実は明らかになるのでしょうか？」と聞くと、星キャスターは「そうですね、野党はどんどん攻めるでしょうけど、安倍総理側は拒否、否定し続けるでしょうね。ポイントは自民党の中の動きだと思いますね。このまま、そのだんまりを決め込むのかそれとも批判の声がでてくるのかその辺がポイント、来月、いや来週月曜日、集中審議がありますんでね、その辺にどうなってくるかポイントだと思いますね。安倍総理は膿を出すと言ってるわけですから、自分できちんと調べて事実確認を発表してもらいたいと思いますね。」と述べた。

・米朝首脳会談を前にしたかけひき→結論：問題なし

今回の報道は米朝首脳会談を前にしたかけひきに期待についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 163 秒であった。

今日、一部の海外メディアが北京経由で北朝鮮入りした目的は北朝鮮が明日にも実行するという核実験場の廃棄を自らの目で見届けることであった。

廃棄作業は天候を見ながら 23 日～25 日の間に廃棄作業実行される見通しである一方、来月 12 日に予定されている米朝首脳会談をめぐり両国の駆け引きが続いており、北朝鮮側が会談の開催を見直す可能性を示していることを受け、今度はアメリカがけん制した。

ペンス副大統領は会談を取りやめる可能性があると警告する中で、韓国の文在寅大統領がアメリカに到着し、トランプ大統領との首脳会談を行う予定であるとのことである。

・狛江市高橋市長辞意→結論：問題なし

今回の報道は狛江市高橋市長辞意についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 82 秒であった。

女性職員に対するセクハラ疑惑で否定を続けていた東京狛江市の市長が一転してセクハラを認め、辞意を表明した。

高橋市長をめぐっては複数の女性職員に対してセクハラをした疑いが市の内部文書で明らかになっていて、副市長らが辞職を迫る異例の事態となっていた。高橋市長はこれまで一貫して、疑惑を否定したが、一転してきょう辞意を表明した。セクハラ被害を受けたとする女性職員 4 人が「謝罪の言葉も口にされない市長の下では働くことができません」などとする抗議文を提出したことを受け、決めたと報じた。

・「カジノ整備法案」衆院本会議で審議入り→結論：問題なし

今回の報道は「カジノ整備法案」衆院本会議で審議入りについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 28 秒であった。

安倍内閣が重要法案として位置付けるカジノ整備法案が衆院本会議で審議入りし、法案では、カジノを含む IR、統合型リゾートを最大で全国 3 か所整備できるとしたほか、入場料は 6000 円とし、日本人の入場は週 3 回に制限した。与党はこの法案とあわせ、ギャンブル依存症対策法案の成立も目指すというものである。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・加計学園“新文書”で浮かんだ矛盾→結論：印象操作が濃厚

星キャスターの「新聞の総理動静っていうのは総理番の記者が書くんですけれども、まあ、私の経験から見ても、目を逃れて総理と会うってことも十分可能なんですね。例えば、ここでいうと公邸ですね、公邸には裏口もありましてね、裏口からでたり入ったりするとあの一、記者の目には引っかからないということですし、それから、私邸に帰ってますけれども、この時も加計さんがですね、早めに私邸いて面談の後、裏口から帰ればわからないとそういうことですね。」という発言は、憶測でしかなく、実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対してそれが事実であるかのような印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

検証者所感

・番組構成について

政治的に重要なニュースよりも疑惑に時間を割くというのは如何なものかと感じた。

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 平成 28 年 5 月 23 日

出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙

検証テーマ：森友学園問題、イラク日報問題、加計学園問題、米朝会談延期についてトランプ大統領が言及、東京・狛江市長セクハラ認める

報道トピック一覧

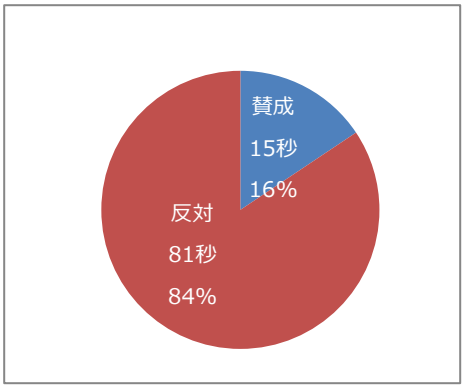
・日大悪質タックル問題　前監督が会見
・森友学園問題：財務省が交渉記録を意図的に破棄
・イラク日報内部調査結果報告
・加計学園問題
・米朝会談延期についてトランプ大統領が言及
・鑑定留置中に病院から逃走の男を逮捕
・シェアハウス運営会社が破産
・東京・狛江市長セクハラ認める
・スポーツ報道
・23 トゥデイ
　・競泳の古賀選手がドーピング違反
　・交差点でこたつを囲む　京大院生を逮捕
　・都内の花粉飛散が 4 倍に
・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・森友学園問題→結論：放送法第四条第一項第二号と同項第四号に抵触のおそれあり

今回の報道は財務省が森友学園の交渉記録を提出した問題についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 560 秒だった。なお、今回は賛否の分かれる問題であり、提出された資料を参照し、昭恵夫人の関与の疑いについて賛否が分かれる内容であった。

賛否の時間配分および比率は以下の通りであった。



著しく賛否が偏っており、これは放送法第四条第一項第二号（政治的公平であること）に抵触していると考えられる。また、賛成意見に類する発言は安倍首相の「私の妻は籠池氏から何度か留守電、留守番電話に短いメッ

セージをいただいていたが、具体的な内容については全く聞いていなかった。妻はほとんど電話に出ていないというのも事実でありまして、それと変わりはないのであろうと。」という発言のみであり、昭恵夫人の関与を疑う発言については、玉木代表（国民民主党）、今井議員（国民民主党）、長妻議員（立憲民主党）、辰巳議員（共産党）と非常に多くの議員が登場している。これは放送法第四条第一項第四号（意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）に抵触していると考える。

なお、反対意見の発言を集めると「優遇を受けられないかと総理夫人に照会があり、当方からお問い合わせさせていただいた。これ谷さんね。」（今井議員）「だからまさに、関与しているじゃない。総理夫人。」（玉木代表）「ここに書いてあることが事実だとすると総理夫人に直接紹介があったと。そして優遇を受けられないかと。」(長妻議員)「昭恵さんの『前に進めて下さい』この言葉ですよね。それに慌てた近畿財務局の職員が本省に相談しますと言って 180 度態度が結果的に変わって協力すると。本省が（昭恵夫人の存在を）認識して方針を変えていったことが今回の文書で判る。」（辰巳議員）があった。

また、スタジオでは星キャスターが「政府与党側はこれで一つの幕引きというわけなんですが、むしろこの文書の公表で疑惑が明確になったと思うんですね。そういう意味では森友への特別扱いだとか文書の廃棄の経緯についての究明が必要になってきていると思いますね。」と発言した。星キャスターは疑惑と述べているが、発言する様子から昭恵夫人の関与は明らかであるという印象を与えるもので、事実かどうか判らない問題についてそのような印象を与えることは不適切である。

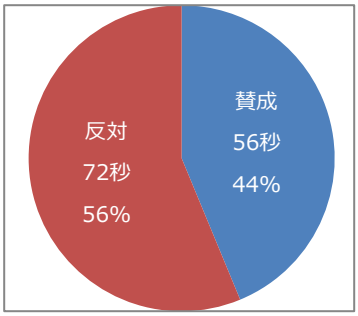
・イラク日報問題→結論：放送法第四条の観点から問題なし。

今回の報道は存在しないとされていた自衛隊イラク派遣時の日報が存在していた問題についての報道であった。この問題に関して調査が行われ、その結果が発表されたことも合わせて伝えられた。結果は、情報共有の問題はあったが、組織的隠蔽を図ろうとした事実は見られなかったというものであった。この結果をふまえ、自衛隊制服組・事務方両トップを含む 17 名が処分されたことが明らかとなった。このトピックに当てられた報道時間は 58 秒であり、放送法第四条の観点からは問題は見られなかった。

・加計学園問題→結論：放送法第四条の見地からの問題は見られなかった。

今回の報道は加計学園の獣医学部新設について安倍首相の関連があったかについて野党が追求する点に着いての問題であった。このトピックに当てられた報道時間は 243 秒だった。なお、今報道では安倍首相を追求する野党の様子とそれに答える安倍首相の様子という形で賛否が別れる内容であった。

賛否の時間配分と比率は以下の通り。



反対意見として長妻昭代表代行（立憲民主党）の質問があり、「2015 年の 2 月 25 日前後にですね、加計孝太郎理事長とですね会話あるいは面談はされましたですか。」「2 月 25 日前後に電話含めて加計孝太郎理事長とお話をされたことはありますですか。」「総理自らが会っていないと言った以上それが崩れれば辞任しないといけなくなる」ということについてはどうお考えですか。」という内容だった。これに対して賛成意見として安倍首相の答弁「ご指摘の平成 27 年 2 月 25 日に加計理事長とお会いしたことはないと念の為に訪問予約も調査をいたしましたが加計理事長が官邸を来訪した記録は確認できなかったということでございます。」「3 年前でございますから、それについてはこれは記録が残っているわけではございませんので今渡しが確たる事は申し上げることはできませんが、いずれにせよ、いわば獣医学部の新設についてのやり取りは一切していないということは今まで申し上げているとおりでございます。」「仮定の質問についてはお答えすることはできません。」という発言があった他、加戸前愛媛県知事の「今回の加計問題に関してはいっさい安倍総理は関係ない。ただ、加計学園の事務局の方ではいろいろ努力をする中で若干戦果を誇示するような話があったのかもしれませんね。」という発言が見られた。

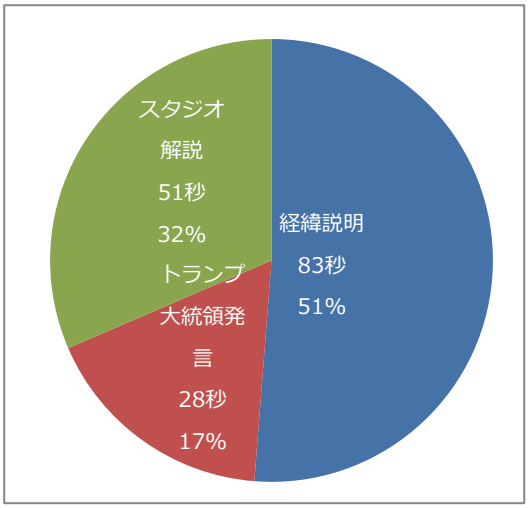
また、スタジオに戻ってから星キャスターから「そうですね、これまでのところその言葉に行動は伴っていないと思いますね。本当にその膿を出したいのだったらですね、自分で色々調べることは可能なんですね。例えば、第 2 次安倍政権で 19 回加計さんに会っているというのですが、どこで、どういう場所であったのか、それから費用はどっちがもったのか、どういう話をしたのかというのを一覧表にしてでもだしてもらいたいのですけど、だしてませんね。それから、安倍総理は自民党の総裁なんですよね。ですから、自民党の執行部に対してですねその関係者、仲村知事だとか加計さんだとか国会に呼んでちゃんと真相を究明しようじゃないかと自民党の執行部に言えば済む話なんですが、それもやっていないという意味でやはりそのリーダーシップは発揮していないというのが現状だと思いますね。」という発言があり、安倍首相の責任を追求する内容であったため、これも反対意見としてカウントを行った。

賛否バランスに大きな偏りはなく、長妻代表代行と安倍首相のやり取りだけでなく、加戸前知事の意見も放送するなど多角的視点と言えなくもない。（ただし、より多くの多角性を持たせることが望まれる）

・米朝会談延期についてトランプ大統領が言及→結論：特に問題なし

今回の報道ではトランプ大統領が米朝首脳会談の中止を示唆する発言を行ったことが伝えられた。今トピックは賛否の別れる問題ではなかった。今トピックの報道時間は 162 秒だった。

賛否の別れるものではなかったが、報道の時間配分を見るためにトピックを 3 つのテーマに分け時間計測を行った。結果は以下の通り。



テーマのうち、トランプ大統領発言には以下の内容が見られた。「私は時間を無駄にしたくないし金党委員長もそうだろう。首脳会談が開催されない可能性は大いにあるし、それでもかまわない。」「少し失望しているんだが金正恩氏が中国の習主席と 2 度目の会談をした後態度が急に変わってしまったんだ。それが気に入らない。」「習主席はワールドクラスのポーカープレイヤーだよ。」

また、スタジオ解説においては星キャスターから「そうですね。トランプ大統領が中国習近平主席を批判しているというのは非常に異例なことですよね。アメリカからするとどうも北朝鮮はアメリカと中国を天秤にかけているのではないかと思っているわけですね。特にその習近平さんが最近北朝鮮の段階的な非核化を容認するような発言をしていますのでアメリカは完全非核化まで見返りを出さないという主張ですのでその辺がちょっと相当折り合わなくなっているんですかね。まあ逆に言うとその辺の違いが見えてきたということなので今後おそらく米中の話し合いとかアメリカと北朝鮮の準備会談とかそういうことにつながっていく気配はあるんですね。」という解説がなされた。

米朝首脳会談を 2 国間の問題としてのみではなく、中国というプレイヤーも含めた報道は多角性を持った報道として評価できる。

・東京・狛江市長セクハラ認める→結論：特に問題なし

今回の報道では東京の狛江市長がセクハラを認めたことが伝えられた。ただし、本人（狛江市長）の弁では、「女性職員がセクハラと感じたなら認めざるを得ない」というものであり、本人はセクハラを行ったという認識ではないと伝えられた。報道時間は 25 秒で、経緯説明のみの内容であった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし。

検証者所感

特になし。

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局： TBS	番組名：NEWS23	放送日： 5 月 24 日

出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙

検証テーマ：米朝首脳会談、森友文書、宗教団体の日韓信者 30 名拘束、元富山市議に有罪判決

報道トピック一覧

・米朝首脳会談
・森友文書
・日大悪質タックル
・JAL トラブル
・宗教団体の日韓信者 30 名が中国で拘束
・バイオ燃料販売会社に強制調査
・元富山県議に有罪判決
・スポーツ情報
・米朝首脳会談
・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・米朝首脳会談→結論：放送法四条の見地からは問題なし。

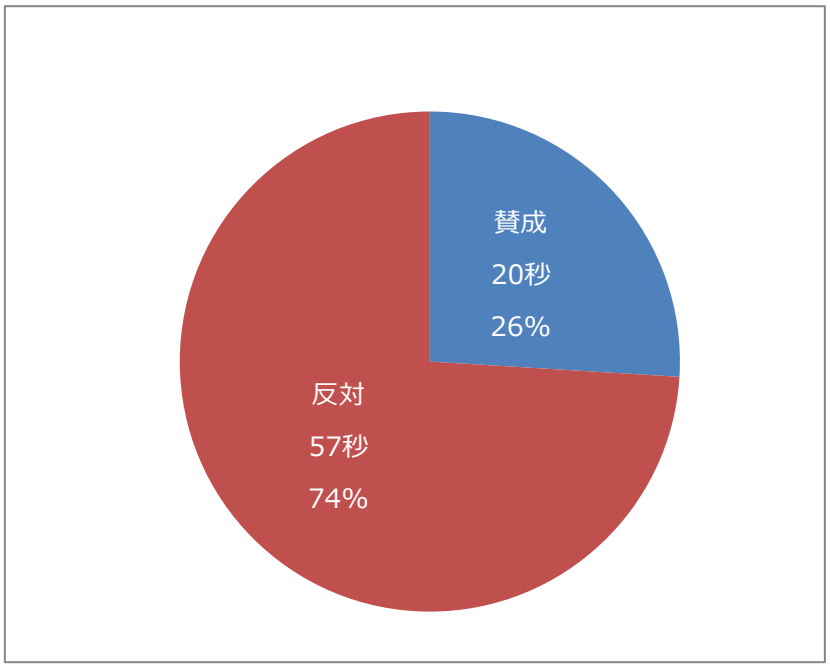
6 月 12 日に予定されていた米朝首脳会談がキャンセルことについての速報。番組冒頭での経緯説明の後、北朝鮮情勢に詳しいとされる平井久志氏による解説がなされていた。平井氏はキャスターの星浩氏の「北朝鮮はどう出てきますかね？そういうつもりで言ったのではないというふうに出てくるのか、さらに強硬姿勢なのかいかがですかね。」との問いに対し「私は両方だと思いますね。あの対話によって状況を解決したいという意思そのものはまあ北朝鮮がアメリカも残ってると思うんですね。ただ主導権争いということで北朝鮮ここに来て先週のキム・ゲグァン第一外務次官の談話、そして今日出たチェ・ソンヒ外務次官の談話というのが、非常に強硬にアメリカに自分たちの主張を突き付けた、そのことに対してトランプさんはそういうやり方では我々は応じられませんよという形で、とりあえず 12 日のシンガポール会談は取消したということですから、ただ会談の枠組みと言いますか、それが簡単に消えたわけではないんじゃないのかなという気がしてます 。」と答えていた。

またワシントンからの報告もなされ現地の岩田夏弥氏は「突然の発表でしたけれども、そもそもですね、あのトランプ大統領は会談をするかどうかについては来週にはわかると昨日の時点でも話したんですけれども突然の発表となりました。その背景にあると考えられますのが先ほどの話にもありましたが昨日発表されました、北朝鮮側チェ・ソンヒ氏の談話が非常に強く影響を与えたと思います。その談話の中ではですね、あのまずペンス副大統領についてマヌケだと言ったような非常に感情的な表現を使って、ペンス副大統領厳しく個人攻撃するような内容が入っていました。そして一番大きいと考えられるのがですね、北朝鮮が核保有国であるということを書かれていたんですね。つまり核保有国である北朝鮮というのを強調する中で果たしてそんな人たちがですね、本当に核を放棄するのか非核化に応じるのかというところに非常に強い懸念を抱いたものだと思われます。従ってトランプ大統領自身が党委員長に対する書簡という形で文書を発表しまして、今回の 6 月 12 日シンガポールについては見送るとキャンセルするという発表に踏み切ったものだと考えられます。」と報告していた。このトピッ

クスに充てられた時間は 674 秒であった。なお今回は賛否が分かれる点は特にみられなかった。

・森友文書→結論：放送法四第一項二号に照らし合わせると不十分

佐川理財局長の記録が残っていないとした答弁に合わせて、財務省が公文書を廃棄した問題についての報道であり、このトピックスに充てられた時間は 453 秒だった。政府側の見解に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ、賛否の時間配分及び比率は以下の通りとなった。



賛成意見としては安倍総理と記者との間での

記者：優遇について問い合わせるのは昭恵氏が関与しているということでは？
安倍： その件については今まで何回も国会等で答弁していた通り言ってあります 。

とのやり取りが紹介されていた。反対意見としては立憲民主党の枝野幸男代表による「国会で堂々と嘘をつかれて、それを放ったまま前に進めますか？」という発言、またスタジオの星浩による「それに併せて幹部の処分も出るんですね。その時にその財務省のトップである麻生さんはどうするのかも言うことですよね。これだけの問題を起こした組織のトップですからね、麻生さんの責任を免れないと思いますし、その与党の中からもですね、麻生さんどうにかしようという声は必ず出てくるんじゃないか。安倍総理は総裁選を睨んでなかなか麻生さんを外したくないというのが本音でしょうけども、その辺がどうなってくれるのか来週の集中審議の前後がポイントになってると思いますね。」とのコメントが報道されていた。また公明党の北側一雄中央幹事会長が記者から「責任の及ぶ範囲は財務大臣底も含めて検討してもらいたいという理解でよろしいでしょうか？」と問われ「調査がそれなりにされたところでですね、当然そうした問題は出てくるんだろうなと思っています。」と答えていた。

野党側の発言のみならず与党議員の意見も多く取り上げていることから一定の多角性は認められるものの、麻

生氏を追及する論調が目立った。また印象操作が疑われる点があったため上記の結論とし、詳細は下記に記した。

・宗教団体の日韓信者 30 名が拘束→結論：放送法四条の見地からは問題なし

宗教団体の信者と見られる日本人と韓国人が中国国内で当局に拘束されていることについての報道。中国では外国人による布教活動が条例で禁じられていてこれに反している可能性が指摘されていた。このトピックスに充てられた時間は 51 秒であり、放送法四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

・元富山県議に有罪判決→結論：放送法四条の見地からは問題なし

領収証などを偽造市政務活動費 360 万円鉛をだまし取った罪に問われている元富山県議会副議長の矢後肇被告についての報道。このトピックスに充てられた時間は 21 秒で、特に問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・森友文書→結論：印象操作の疑いがあり

同問題の報道において「国会・国民傷つけた“悪質さ”麻生財務相の責任免れず」とのテロップがあった。しかしこのテロップでは「国会と国民を傷つけた」について主語が不明確で、文書の廃棄等が麻生氏による直接責任があるものと誤解を与えかねず、よって印象操作の疑いがあると言える。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局： TBS	番組名： News23	放送日： 2018 年 5 月 25 日

出演者：

星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：森友学園問題、加計学園問題、働き方改革関連法案、財務省文書管理問題

報道トピック一覧

・長野北部で震度 5 強

・列車事故で男児 1 人死亡、1 人重体

・籠池夫婦 10 か月ぶりの保釈

・森友学園問題

　籠池前理事長夫妻が 10 か月ぶりの保釈

・加計学園問題

　今治市長から安倍首相と加計理事長の面会があったとの証言

・米朝首脳会談が中止

・日大アメフト部ラフプレー問題

　大塚学長が緊急会見で謝罪。内田監督の責任論については明言せず

　元非常勤講師が不当な雇止めを受けたとして、人事担当総務理事兼任の内田監督の解任・解職を求める

・働き方改革法案、野党の強い反発のなかで衆院厚労委を通過

・麻生蔵相、財務省による森友学園との交渉記録破棄問題について陳謝。辞任は改めて否定

・スポーツ報道

・23Today

　・長野県で震度 5 強

　・籠池夫婦保釈

　・被災地派遣中の宮崎県職員　宿舎の家具を売却し現金横領→懲戒免職処分

　・秋田犬「マサル」ロシアへ出発。フィギュアスケート・ザキトワ選手に贈呈

　・米人気俳優フリーマン氏が謝罪。自身のセクハラ行為について

・気象情報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・森友学園問題：結論→特に問題なし

　今回の報道は、学校法人森友学園前理事長の籠池泰典氏および妻の詢子氏がこの日大阪拘置所から保釈されたことに関する報道であり、このトピックについて当てられた時間は 193 秒だった。

保釈後に開かれた記者会見の様子が取り上げられ、そのシーンでは以下に朱記したやり取りがなされていた。

籠池泰典氏「財務省の問題で拘留され、これは国策拘留であると認識しています。皆さん、300 日間というと、まだ 1 年経ってへんのかと思うかもわかりませんけど、非常に苦痛であります。保釈にあたって…（涙を流す妻の肩をたたきながら）よう頑張った、えん罪や」

泰典氏「家内までわざわざ引っ張り上げて、拘置所にぶちこんだということは、この民主主義国家の日本にとって考えられないことであります。」

諄子氏「どんな艱難も自分を磨いてくれる砥石だと思って感謝しています。ありがとうございました。」
泰典氏「私はこれから色々な活躍をさせていただくつもりでおりますけれども、小学校の建設についてはいまだ諦めておりません」
記者「国有地の取引について、安倍昭恵夫人の影響はあったのか」
泰典氏「証人喚問でお話しさせていただいたことは、私はまったく虚偽を言っておりませんので」
記者「明恵夫人になにか言いたいことあります？」
籠池泰典氏「本当のことをしっかりと伝えていただいたらいいんじゃないかなと思います。」

全体を通じて、保釈を受けての籠池氏の胸の内を紹介するにとどまり、対立点や論点などは特に見られなかった。

結論としては、今回の報道については放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

・加計学園問題：結論→特に問題なし

今回の報道は、先週に中村愛媛県知事が指摘した学校法人加計学園による獣医学部新設をめぐる安倍首相と加計学園の理事長との面会の事実に関して、本学部の立地自治体である愛媛県今治市の菅良二市長が「市の担当課に話があった」と証言した件についてである。このトピックについて当てられた時間は 234 秒だった。

スタジオの皆川キャスターによる「愛媛県の中村知事が指摘した、3 年前の 2 月の安倍首相と加計理事長との面会。安倍首相と加計理事長はともに会ってないと否定していました。しかし新たに登場したのは、今治市の菅市長、（二人の面会について）担当課に話があったと証言したのです。いったいうそをついているのは誰なのでしょうか？」との導入があり、その後、今治市長の記者会見に場面に移り変わり、そのシーンでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

菅良二氏（愛媛県今治市長）「加計理事長と安倍総理が会ったという話の中ですね。学園の事務方が私共の担当課にお話はあったんだろうと。」
記者「3 年前くらいですか？」
菅良二氏「ええそうですね」
記者「3 年前の 2 月」
菅良二氏「はい」
今治市長が面会の事実を示唆する中で、安倍首相の「ご指摘の日に、加計理事長と会ったことはございません」との発言と加計学園が発表した面会の事実を否認する今月 21 日付けのコメントを紹介し、双方の認識に食い違いがあることが強調されていた。
ここで再び、今治市長の記者会見に戻り、記者との以下のやり取りが紹介された。
記者「（その安倍首相と加計理事長の面会は）記録として残っているのか。」
菅良二氏「でも、大事なのは本当に会ったかどうか。見てもいないし、ただ伝聞で来てるだけ。学園としては私共に対するエールを。これだけ一生懸命やってるんだからというエールだったかもしれません」

スタジオでは、駒田キャスターの「今回新たに、今治市長も安倍首相と加計理事長が会ったとの報告が担当課にあったと証言したのですが、星さんこれをどう見ますか？」という問いかけに対して、星キャスターが「思い返していただきたいのですが、愛媛県の文書の中に安倍総理と加計理事長が会いましたよという記載があって、

今回今治市側も確認したというわけで、そうすると会っていないとする安倍総理からするとまた厳しい局面になってきてるなという感じで、来週月曜日に予算委員会の集中審議がありますから、そこで野党から相当追及されるのではないかと思いますね」とコメントしていた。

今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

・働き方改革関連法案：結論→特に問題なし

今回の報道では、「働き方改革関連法案」をめぐる衆院厚生労働委員会での与野党の攻防が取り上げられた。

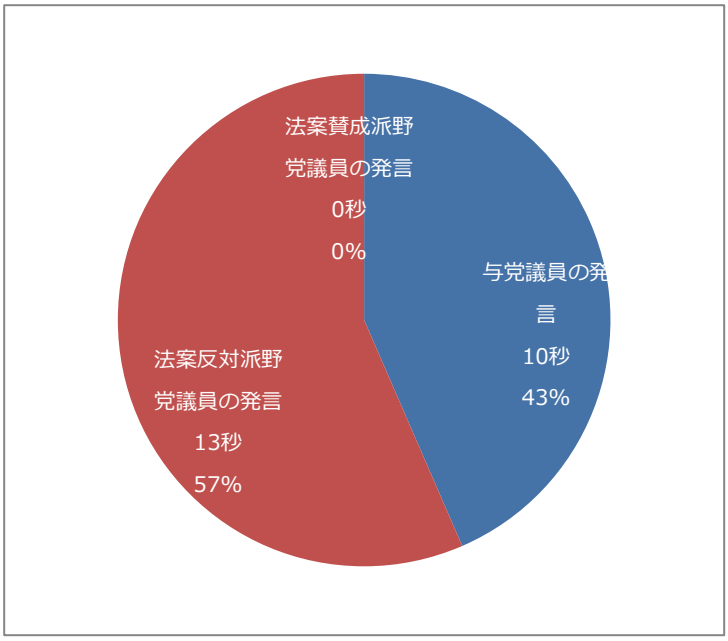
このトピックについて当てられた時間は 87 秒だった。

まず、西村智恵美衆院議員（立憲民主党・新潟 1 区選出）の「不信任決議案を提出しました」との発言が紹介され、野党が加藤勝信厚労相（＝衆院議員・自民党・岡山 5 区）に対する不信任決議案を提出したものの、午後の衆院本会議で与党等の反対多数で否決されたことを報じた。

その後、衆院厚生労働委員会にて野党が猛反対する中、高鳥修一委員長(自民党・新潟 5 区)の職権で審議が打ち切られ、自民・公明の与党および日本維新の会の賛成で可決されたことを報じた。

それに対する与野党それぞれの受け止めとして、与党側の小泉進次郎自民党筆頭副幹事長（神奈川 11 区）の「こんな国会、先進国にはありませんから。国民も与党も野党も誰も得をしないとわかりますよ」、野党側の辻元清美立憲民主党国対委員長（大阪 10 区）の「政務官や大臣が答弁不能のまま、強行採決をするというのは前代未聞です。」とのコメントがそれぞれ紹介された。

与党議員と法案反対派の野党議員、それぞれの発言の時間比は下図の通りである。



上で挙げた「与党議員」および「法案反対派の野党議員」という分類に加えて、本法案については、野党の一つである日本維新の会および希望の党(松沢成文代表)が賛成の意思を示していることを受け、「法案賛成派の野党議員」という分類も用意していたが、今回の放送では取り上げられなかったため、グラフには表示されていない。

今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

・財務省文書管理問題：結論→特に問題なし

今回の報道では、学校法人森友学園の国有地取得に関する交渉記録が財務省内部で破棄されていた問題について、麻生蔵相が事実を認め謝罪したことについて取り上げられた。このトピックについて当てられた時間は 22 秒だった。

閣議後の記者会見での麻生蔵相の「(森友学園との) 交渉記録の破棄が進められていたことが分かっている。きわめて由々しきことであり、お詫びを申し上げる次第である」との発言が紹介され、本件について謝罪した一方で、自身の辞職については改めて否定したことを報じた。なお、今回は放送法第四条の見地からは特に問題点は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

とくになし

検証者所感

・番組構成について

今回の放送では「働き方改革関連法案」をめぐる衆院厚生労働委員会での与野党の攻防が報じられたが、普段から予算委員会以外の各委員会の審議の様子を取り上げていただきたい。

与党支持者に広く共有されている「野党はモリカケばかり・・・」という通説は、実質的にテレビ受けを狙ったパフォーマンスの場となっている予算委員会での野党議員の言動に起因しているわけで、その裏で行われている真摯な議論を取り上げないマスメディアの責任ともいえよう。